

メーカー名	機種名	技適番号・JARL 登録機種番号
日本マランツ株式会社	C5800	S27
八重洲無線株式会社	FT-100	KH266 *****
八重洲無線株式会社	FT-100M	KH267 *****
八重洲無線株式会社	FT-100S	KH268 *****
八重洲無線株式会社	FT-102/100	Y75H
八重洲無線株式会社	FT-102/50	Y75M
八重洲無線株式会社	FT-102S	Y60
八重洲無線株式会社	FT-847	KH254 *****
アイコム株式会社	IC-290	I43
日本無線株式会社	JST-10(A)	J4
日本無線株式会社	JST-100D/100	J6H
日本無線株式会社	JST-100D/50	J6M
日本無線株式会社	JST-100S	J3
日本無線株式会社	JST-110D/100	J10H
日本無線株式会社	JST-110D/50	J10M
日本無線株式会社	JST-110S	J9
日本無線株式会社	JST-125D/100	J12H
日本無線株式会社	JST-125D/50	J12M
日本無線株式会社	JST-125S	J11
日本無線株式会社	JST-135D/100	J14H
日本無線株式会社	JST-135D/50	J14M
日本無線株式会社	JST-135E	KH142 *****
日本無線株式会社	JST-135E/25	A015L
日本無線株式会社	JST-135S	J13

※ 機器リスト中の「技適番号」は「技術基準適合証明番号」を示します。

注1:

これらの機器は、JARLが平成28年2月から実施したスプリアス実態調査において、皆様が免許を受けて実際に運用されている実機をお借りして、複数台測定した結果、機器単体では新スプリアス規格を満足している事が確認できなかったものです。(使用状態や経年変化による個体差もあると思われます。)

注2:

これらの機器でも調整やフィルター、アンテナチューナ、アンテナカップラーの付加などの対策を行うことにより、新スプリアス規格に適合する可能性もあります。

そのため、対策を行った後、実際に測定を行った結果、新スプリアス規格への適合が確認できれば、測定結果を所定の総務省様式(※※)により総合通信局等に届け出を行う事によって、新スプリアス対応が可能です。

※※: <http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/spurious/index.htm>

また、測定結果のスペアナの画面写真等を添付することによりJARLのスプリアス確認保証を受ける事も可能です。